

☆学校だより☆



はくれい

白山市立白嶺小学校

白山市立白嶺中学校

第8号

令和8年6月30日

☆☆ はな だいじ 花を大事に なかま だいじ 仲間を大事にできる はくれい こ 白嶺っ子 ☆☆☆



はなつく めいじん こ なかしまみつる はくれい おし
かつて、花作り名人の故 中島満先生が 白嶺のみんなにこう教えてくださいました。

いいかい。いまは細く小さな苗だけど、みんながお世話してくれたら縦にも横にも大きく成長します。おとなりの葉と葉が重なり合うほど大きくなります。花と花とが手をつなぐみたいに。だから、となりどうしの苗を同じ距離で植えてください。そうしないと手をつなげないよね。「こちらの おとなりさんとは手をつなぐけど、あちらの おとなりさんとはつなぎたくない」というのは、よくないよね。

それから、苗を植えてかぶせた土を上から押さえるときに「(一緒に) 頑張ろう♪」と言ってあげてほしい。「頑張れ!!」じゃないよ。「頑張ろう♪」だよ。

もう一つ大事なことを言うね。苗はどれも同じに見えるけど、水が足りなかったり、土の栄養が足りなかったりして、少し元気がないお花に気づくかもしれない。そうしたら、大丈夫かなあって心配してあげてほしい。そして、先生に伝えてほしい。これは、みんなと同じだよ。みんなの友達が今日は何だかいつもと違うな、元気がないと思ったら「大丈夫か?」って声をかけてほしい。必要なら先生に伝えてほしい。お花も友達もよく見て気づいてあげてほしい。花は何も言えないから、みんなが気づいてあげてほしい。元気をなくした友達も自分からは言えないかもしれないから、仲間として気づいてあげてほしい。

中島先生が教えてくださったことは、お花の植え方、育て方だけではなく、プラランターの花はさらに美しく咲きはじめました。「頑張ろう♪」と声をかけてあげた花は、今日もおとなりさんと手をつなげているだろうか、しょんぼりしている花はないか、美しい花にこいやされながら、みんなで見守り、気づいてあげましょう。学校の仲間にも同じように。

